

実りを願い みんなで田植え

飯野小学校と津森小学校の児童



田植えを楽しむ子どもたち（飯野小）

秋の実りを願い、飯野小学校（竹田泰司校長）と津森小学校（西たよ子校長）の児童が田植えを行いました。

飯野小学校では6月29日、小学校の西側にある水田（小池秋永・富永一成さん所有、約8ア）で全校児童が作業を行いました。

この日植えた苗は「ヒヨクモチ」。農協青壮年部の梶本正一さん（小池秋永）から説明を聞いた後、さっそく田んぼに入り田植え。

最初はぬかるむ感触に悲鳴をあげていた子どもたちも、時間が経つにつれて笑顔がみられ、手際よく植えることができるようになりました。



米作りの大切さを学びました（津森小）

津森小学校でも6月18日、田原にある水田（田原・坂本信さん所有・5ア）で3・5年生の児童が田植えを行いました。

農協青壮年部や同小PTAの方々が協力し、田んぼの左右にひもを渡すと、子どもたちは一列に並び、ひもに沿って「ヒノヒカリ」の苗を一本一本ていねいに植えていきました。

中には、田植えが初めてという子どももいて、やわらかい土に足をとられながらも、歓声をあげながら田植えを楽しんでいました。

これから秋の収穫が楽しみです。

子どもたちへ温かい寄付

熊本りんどうロータリークラブ

6月25日、熊本りんどうロータリークラブ（桂文裕会長）から、地域の子どものために役立ててほしいと、町に対して金一封の寄付があり、住永町長に目録が贈られました。

同クラブからの寄付は平成19年から毎年行われており、今年で3回目。住永町長は「ご趣旨に沿えるよう、子どもたちの交通安全や犯罪防止のため、新入生の黄色い帽子の購入や『かけこみ避難の家』リーフレット制作費の一部にあてるなど、大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。



住永町長に目録を手渡す桂会長



牛乳を贈る町酪農女性部のみなさん

父の日には「牛乳」をどうぞ

町酪農女性部から牛乳のプレゼント

6月19日、町酪農女性部が役場を訪れ、住永町長と緒方副町長、森永教育長に搾りたての牛乳を、父の日のプレゼントとして贈りました。

訪れたのは、倉本満子さん（馬水北）、佐藤清子さん（土山）、村上真澄さん（小池秋永）、坂田友恵さん（惣領1町内）の4人。町内で生産された牛乳や乳製品の消費拡大とPRのために行っており、今年で12回目となります。

4人は町の三役に、「ぜひ栄養豊富でおいしい牛乳をたくさん飲んでください」とお願いしました。